

# MICHELIN ROAD 5

## PREMIUM EXPERIENCE

原田哲也 直伝

### ツーリングに効く ライテク・レッスン!



メーカー主催によるワンメイクタイヤのライディングスクールという  
これまで聞いたことがないニューイベントをミシュランが開催  
しかもメインインストラクターは、あの原田哲也さんだったのだ!

取材協力/日本ミシュランタイヤ TEL0276-25-4411 <http://www.michelin.co.jp/>  
PHOTO&TEXT/T.TAMIYA

開催日: 7月14日(土) 開催時間: 9時~16時  
場所: GKNドライブラインジャパン・ブルーピンググラウンド  
主催: 日本ミシュランタイヤ 運営: ユニゾンテック  
申し込み: エイ出版社

#### 豪華講師陣が教えます!!

メインインストラクターはWGP250cc クラスチャンピオンの原田哲也さん(左から3番目)。さらに鈴木大五郎さん(右から3番目)や齋藤栄治さん(右から2番目)、伊丹孝裕さん(左から2番目)が、それぞれのカリキュラムを担当。なお写真右端はイベント発起人の日本ミシュランタイヤの山田寿一さん、左端はイベントMCを担当した多聞恵美さん

#### ロード5を実感してください



#### GKNドライブラインジャパン・ ブルーピンググラウンドを 丸一日貸し切って開催!!



会場は、クルマの駆動系部品を開発・生産する英国企業の日本法人が所有する、栃木県内のブルーピンググラウンド(テストコース)

イベント名称どおり、まさにプレミアムな体験だった。

7月中旬、日本ミシュランタイヤはロード5のユーザーを対象に「ミシュランロード5・プレミアムエクスペリエンス」というライディングレッスンを実施。その内容は、ありえないスペシャル感に満ちていた。そもそも、タイヤメーカーが1銘柄のユーザーに限定してライディングレッスンを開催するというのは、極めて稀なこと。それだけでもスペシャルなのに、参加定員はわずか24名と、かなり限定的だった。会場は、GKNドライブラインジャパンが所有するブルーピンググラウンド。ここは、さまざまな路面状況や速度域を走行できるテストコースで、一般のユーザーが走れる機会は非常に少なく、これまたスペシャル感がたつぷり。しかも、参加費は1万円(昼食代と保険料込み)で抽選会では参加者全員に豪華ミシュラングッズが配られ、モトGP日本グランプリの観戦チケットを懸けたジャンケン大会まで実施された。

そして何より、講師陣がプレミアムすぎる。メインインストラクターは、ロードレース世界選手権の250ccクラス王者としても知られる原田哲也さん。さらに、いずれもBMWモトラッド公認インストラクターの資格を持つ鈴木大五郎さんと齋藤栄治さん、豊富なロードレース経験を持ち本誌でもお馴染みの伊丹孝裕さんと、少人数の参加者に対し





景品にはMotoGPチケットも!!



全員にミシュラングッズが当たる抽選会に加えて、ジャンケン大会も実施。こちらの景品はMotoGP日本グランプリの入場券!

最後はみんなでパレード



原田さんの提案により、最後は参加者たちが連なって高速周回路をパレードラン。楽しく充実した1日の体験を締めくくった

## 伊丹孝裕さんの Uターン&リヤブレーキ

3



「うちが一番地味で、走行風を受ける時間が少ないから暑かったはず」と笑う伊丹さんのコーナーでは、Uターンの特訓。クラッチを切ったりリヤブレーキを踏んだりしながら低速旋回して、車体を安定させる操作と不安定にさせる操作も体感した



## 鈴木大五郎さんの ドライ&ウエット制動

4



ドライ路面だけでなく、散水設備により晴天時でもウエット路面がつかれるこのプルービンググラウンドの特徴を生かして、ドライおよびウエットで急制動を繰り返し、ロード5の優れたウエット性能を実感しながらブレーキング技術を高めた



杉山 豊  
1400GTR

まさにプレミアム。安全運転講習や他のスクールで、こんなにもてなされたことはありません!



内永 豊  
S1000XR

サーキットはたくさん走りましたが、こういうレッスンはほとんどなかったの、勉強になりました



志茂坂武  
ハヤブサ1300

講師の方々がいねいに教えてくださり、有意義な時間となりました。原田さんと話せたのも感動!



井田安彦  
NC700X

バンク初走行。貴重な体験でした。タイヤの性能を安全に理解できるので、頻繁に開催してほしい!



磯野弘幸  
F3

原田さんの言うとおり、ロード5はとてもワイドレンジのタイヤですね。難しさがないのも長所です



鈴木浩樹  
MT-09

パワーRSから履き替えてまだ1週間。この体験でロード5の優れたウエット性能を実感できました



笠井健次  
ニンジャ650

濡れた路面で80km/hから急制動したのは初めてなので、貴重な体験でした。着実に進歩したはず!





## 4つの カリキュラムで みるみる上達

### 齋藤栄治さんの フォーム&ステアリングワーク

1



定常円旋回場を利用して、ライディングフォームによるコーナリングの違いや逆操舵の効果を体感。自転車の車輪を使って、ジャイロも学んだ。エスケープゾーンが広く安全で、同じ曲率で旋回が続けられるため、いろいろな操作に挑戦しやすいのだ

### 原田哲也さんの スラローム&高速周回

2



スラロームにより、ステップワークや膝での入力を中心としたボディワーク、あるいは逆操舵によるバンクングについて学習。「せっかく特別な場所を走れる機会なのだから」と、巨大なバンクが設けられた高速周回路を走る時間を多めに取ってくれた

#### 講師陣と一緒に豪華ランチ



ケータリングによる豪華な昼食付き。講師陣も同じテーブルを囲んだので、「あの原田さんと食事する！」こともできたのだ



山中道夫  
SV650

バンク走行は、なんだか不思議な感じがした。ウェット路面で想像以上によく止まって驚きました



磯田真一  
XSR900

ウェット性能が高いことや、以前履いていた他社製より状態が分かりやすいことが認識できました



田崎 慎也  
ニンジャZX-14R

一般道で使えるテクニックをいっぱい教えてもらい、14Rが前より軽く感じられるようになりました



飯塚一雄  
1400GTR

バイクが曲がる原理を学び、実走行でより理解できました。タイヤの進化も感じられるイベントです



平山秀幸  
VTR1000F

ずっとミシュランを愛用。タイヤ性能が理解できて、講師陣も豪華。これで参加費1万円は安すぎ！



有賀文昭  
R1200RT

初体験尽くしでした。メーカーの方々からロード5に関する説明を直接受けられた点も有意義でした

みなさん  
いかがでしたか？



て4名の著名メンバーが集結。

ちなみに原田さんは、プライベートでもこのロード5を愛用していて、「サーキットでも、タイヤを履き替えることなくファンライドを楽しんでいますよ」とのこと。バイクを操るテクニックだけでなく、ロード5の特性も知り尽くしている。

レッスンは、参加者たちが4チームに分かれて、各講師が担当する約1時間のカリキュラムを順に受講。実際の参加者は13名だったので、4名のインストラクターから直接アドバイスを受けたり、ライディングなどに関する質問をしたりできる時間がたっぷりあった。

レッスンを終え、原田さんは感想とロード5の魅力をこのように語っていた。

「みなさんとても上手で驚きました。とはいえ、今回のレッスンで技術の幅を広げてもらい、いろんなシーンで活用してもらえればと思います。ロード5はツーリングタイヤですが、走行会レベルならサーキットでも問題なく楽しめます。もちろん、タイムを狙うならレース用に換装するほうが良いですが、それらのタイヤにはシビアな管理とコントロールが求められることがほとんど。でもロード5なら、自走での行き帰りも快適で、サーキットでは気を遣わず走り出せます。もちろん普段のツーリングでは、スポーツ性だけでなく卓越したウェット性能も頼りになります。フレキシブルさに磨きをかけたことが、ロード5の大きな魅力ですね」

